

この度は弊社のフローリングをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

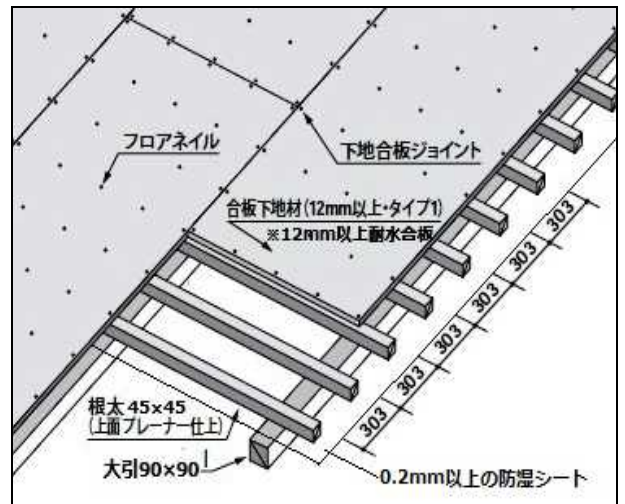
床材をきれいに仕上げ、最良の状態でご使用いただくため施工前に必ず本書をお読みのうえ、正しく施工してください。

* 保管・施工環境のご注意

- 1) 直射日光や水が掛かりやすい場所、湿気の強い場所での保管を避け風通しのよい場所に保管してください。水平な場所に同じ高さのリングを置いて水平に保管してください。
- 2) 床下などの湿度が高い場合、水濡れの施工現場、また、下地のモルタルの含水率が 8% 以上などの場合、床材の異常な膨張による不具合が起こる可能性が高くなるため、施工の際には十分な配慮と対策を施してください。
- 3) 換気口は十分か確認してください。床下の換気が十分でない場合、施工後に「接着不良」「暴れ」「突き上げ」「床鳴り」など発生する恐れがあります。
- 3) 広葉樹の場合、必ず開梱した状態で 1 週間程度、施工現場の環境に十分馴染ませてからご施工ください。
- 4) 針葉樹の場合、開梱後すぐ施工してください。放置すると、反り、割れ、ネジレ等を発生する場合がありますので、ご注意ください。

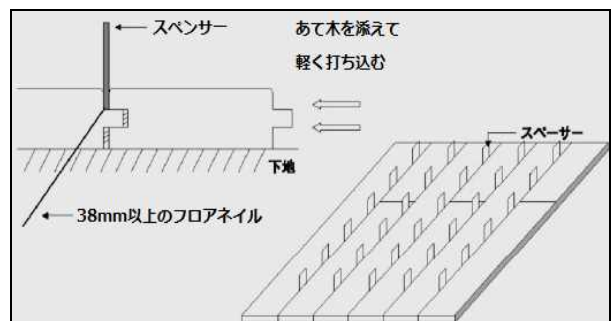
* 下地施工に際してのご注意

- 1) 大引きは 90mm 角以上、根太は 45mm 角以上のプレーナー仕上げした乾燥材で、ネジレのない平滑な材料を使用してください。
- 2) 大引きは 909mm ピッチ以下 根太は 303mm ピッチ以下にしてください。
- 3) 捨て貼り合板は 12mm 以上の十分に乾燥された耐水合板を使用し、右図のようにレンガ貼りで施工して下さい。
- 4) 合板と合板の隙間は、2~3mm 明け、段差の出ないようにしてください。
- 5) 防湿対策として、必ず 0.2mm 以上の防湿シートを根太と捨て貼り合板の間に敷き込んで施工してください。
- 6) 根太がない場合、大引きは 105mm 角以上の乾燥材、捨て貼り合板は 24mm 以上の耐水合板を使用してください。



* 施工上のご注意

- 1) 仮並べ・割り付け：天然木ですので 1 枚 1 枚すべて色柄が異なります。施工前に仮並べをして全体としての色調のバランスをとってください。※加工不良・塗装不良などお気づきの点があれば貼らずにご相談ください。
※割り付けの際に下地 ジョイント部とフローリングのジョイント部が重ならないようにしてください。
- 2) 貼り込み・施工：天然木を使用していますので呼吸します。湿度により無垢材は伸縮を繰り返します。貼り込みの際にフローリング同士の隙間を（フローリングの樹種・規格によって 0.3~1mm）空けて、また壁面から約 5mm 以上の逃げを取ってください（4 方向）建具、柱、框、サッシに接する場合も同様の逃げを取って、コーキング処理してください。

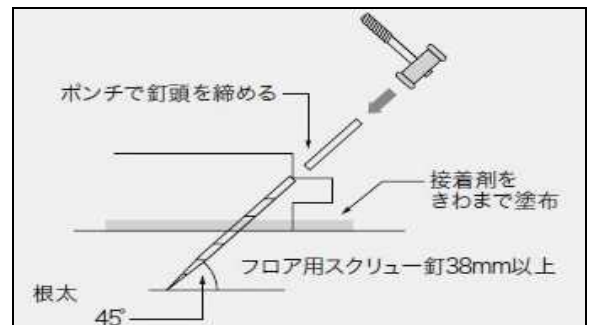
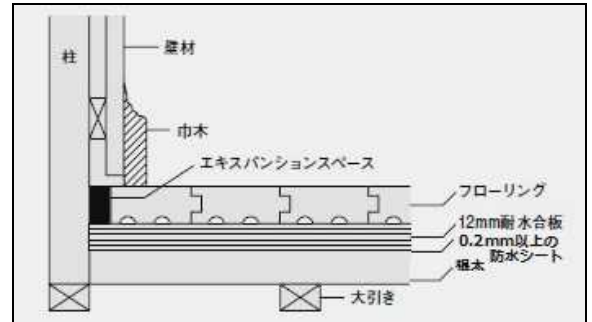


3) 必ず木質床専用接着剤（一液性ウレタン樹脂系接着剤）と38mm以上のフロアネイル(スクリーネイル)を併用して下さい。

4) 接着剤の塗布：接着剤は下地の釘打ち可能部分に約 150mm～300mm ピッチでフロアと直行するように、長尺部・短尺部の雄実の間まで塗布してください。また、短尺部の接合箇所にも必ず塗布してください（目スキと突き上げ防止効果）。

5) フロアネイルの打ち込み：雄実の付け根から材の中央方向に向かって斜め 45°に打ち込んでください。下地を通して根太に打つのが基本です。雄実部に直接釘打ちすると、実部が欠けたり、割れたりする場合がありますので、予めドリルで直径 2mm 程度の導き孔をあけてから釘打ちしてください。（割れたまま施工すると踏みなりが生じる場合がありますので、充分注意してください）。釘頭を必ずポンチで沈めてください。

（釘頭が残っていると床鳴りや目スキ、突き上げの原因になります）。

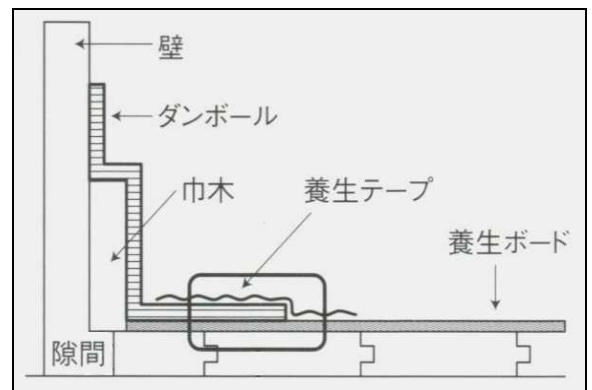


* 施工後・養生のご注意

1) 施工後は速やかにきれいに掃除した後表面保護のために右図のように養生シートまたは養生ボードにて全面覆ってください。

※ 養生テープをフローリングに貼らないで下さい。粘着テープによって塗装がはがれたり、粘着材が材に付着し汚れや変色の原因となります。

※ 天然木のフローリングは呼吸します。工事期間中の養生後は非常に厳しい環境となります。お引渡し前に、キズ・反り・突き上げのないよう正しい施工を心がけましょう。



* その他のご注意・免責事項・クレーム規約

1) 施工方法はあくまでも一般的な事例を紹介しております。当社はこれに基づく設計・施工上の不備に対して一切の責任は負いかねますのでご了承下さい。

2) 天然木の為、色のバラツキや節、入皮といった特徴があります。また、湿度に敏感です。季節の変化や暖房によって、若干の反り、目隙、干割れ、不陸等を生じることがありますので、ご理解の上ご使用ください。

3) 施工後の伸縮、反り、割れ、変色等の発生、及び諸条件による経年変化は天然木の性質上避けられません。これに関する、苦情、返品、交換等はこちらはご容赦いただきますようお願い申し上げます。

4) 返品について、返品・返金を承ります（返品送料、倉庫入庫料、検査料及び銀行事務手数料等はお客様負担となります）但し、次の商品は返品できません。●商品及び梱包に破損があるもの。○納品後7日以上経過した商品。●特注生産品。●施工後の商品。●その他についてはご協議の上になります。



床暖房をご使用の場所については、本書をお読みいただき正しく施工してください。

* 天然木のフローリングの特徴について

天然木のフローリングは、周囲の環境によって動きがあります。置かれていた環境の湿度が高いと、無垢材の呼吸によって、湿気を吸い膨張という現象を起こります。逆に、乾燥すると、無垢材の水分を空気に吐き出し縮みます。無垢材の呼吸によって、室内環境（湿度）を調整し、住み心地の良い環境を提供してくれます。

木材乾燥技術の進歩（含水率のコントロールなど）により、伸縮、反りなどの自然変化を最小に抑えることができますが、無垢材は四季を通じて伸縮を繰り返します。また、床暖房使用に限らず天然無垢材は環境の変化により数ミリ程度の隙間が出る場合があります。

* 床暖房（低温タイプ、低温運転）仕様の商品ご使用について

- 1) 床暖房仕様加工のフローリングの商品については、弊社までご確認くださいようお願いします。
- 2) 天然無垢フローリング、および 無垢単板複合フローリングの床暖房へのご使用の際は下記の「使用上のご注意」を必ず厳守し、ご使用前にお施主様にも十分ご理解いただいでください。
- 3) 弊社の床暖房仕様加工の商品でも床暖房使用時に材の収縮により数ミリ程度の隙間ができることもあります。これは現場環境、及び床暖房の使用方法によって伸縮の程度が異なります。ご理解のうえ、ご採用ください。

* 床暖房（低温タイプ、低温運転）仕様の商品施工のご注意

* 施工マニュアルをご参照したうえ、床暖房仕様加工商品のご施工については、以下の事項を補足します。

- 1) 弊社の床暖房使用可能の無垢フローリングの施工について、床暖房と無垢フローリングの間には、必ず 12mm以上のコンパネを捨て貼りし、釘・ボンド併用で施工してください。
- 2) ボンドは 1 液性ウレタン樹脂耐熱ボンドをご使用ください。 ※ 木工ボンドなどの水性エマルジョン系接着剤のご使用は絶対に避けてください。

* 床暖房（低温タイプ、低温運転）使用上のご注意

- 1) 弊社の床暖房仕様加工の商品であっても天然無垢材ですので、床暖房使用時に数ミリ程度の隙間が出る場合がありますが、ご了承いただいた上ご使用ください。
- 2) 床表面温度が 28 度までになるよう温度調整し、低温運転（パネル温度 40℃以下の設定）してください。また、床暖房運転時には必ず「ならし運転」をし、木材に急激に負荷をかけないようにご考慮ください。
- 3) 室内湿度は 40%～60%を保つよう、加湿器などを使用し調湿してください。
- 4) 暖房エアコン、電気カーペットとの併用、絨毯、座布団、布団などの長期間ご使用は絶対に避けてください。局部加熱による「こもり熱」により床表面のひび割れや、変色、収縮による大きな隙間が生じたりして、床鳴りの原因にもなります。
- 5) 床暖房メーカーの使用注意事項などをご参照したうえ、ご使用ください。



この度は弊社のフローリングをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

床材を最良の状態でご使用いただくため本書をお読みいただき正しく使用してください。

天然木の為、色のバラツキや節、入皮といった特徴があります。また、天然無垢材は、湿度に敏感です。季節の変化や施工状況・使用環境によって、若干の反り、目隙、干割れ、不陸等を生じることがありますので、ご理解のうえご使用ください。

日常のこんな使い方に注意しましょう

● 水分に注意しましょう

水分は変色・ムクレを起こしたり、毛羽立ちや白濁を生じる原因となりますので、水槽や観葉植物等の鉢の扱いには十分注意しましょう。また、ペットの尿などの排泄物は床材を傷めるおそれがありますので、すぐにふき取りましょう。

● 家具の脚などには緩衝材を

椅子やテーブルの脚の裏側にフェルトなどの緩衝材を貼ると、キズがつきにくくなります。

また、冷蔵庫、ピアノなど重量物の脚部には必ず保護板などで床板にかかる重量を分散し、キズやへこみ防止をしましょう。

● 熱にご用心！！ 暖房設備（エアコン、温風ヒーターやストーブ、床暖房設備等）のご使用するには、

- * 必ず加湿器をいっしょにご使用しましょう。乾燥しすぎは目スキ、反りや割れの原因となりますので、加湿器を同時に使用すると、室内の湿度を上げて上記の現象を軽減することが出来ます。加湿器で部屋の湿度を50%～60%以内に調節しましょう。
- * ホットカーペットを使用しないでください。熱ごもりにより目スキ、色やけ、形状変化が生じます。
- * 温風ヒーターなどの暖房器の熱が直接に当たるような使い方は、目スキや反り、表面割れを引起すことがありますので避けましょう。
- * 床暖房使用のフローリングは絶対にカーペットや絨毯を敷いたり、家具を置いたりしないでください。熱ごもりにより目スキや色やけ、反りや割れなどの問題を生じます。

● 強い日差しは避けましょう

長時間直射日光が当たると、木材は天然光線の中の可視光線成分や紫外線成分を吸収し変色していきます。

その結果は、日焼けによる変色や割れを生じます。直射日光はあたる場合には、カーテンやブラインドで遮るようにしましょう。

● カラーリング剤、漂白剤に注意しましょう

自宅でヘアカラーリング剤、漂白剤を使用する際には、床の上に薬液をこぼさないよう注意しましょう。シミや変色の原因になります。

● 化学モップを使わないでください

クリーニングの専門業者の薬品、化学モップの使用により、天然木の変色、色ムラの発生などの事案が報告されています。注意しましょう。

● 市販のワックスを絶対に使わないで下さい

市販されているワックスの一部が大量の水分や樹脂を含んでいる場合があります。このようなワックスの使用により、フローリングの変色・膨張・突上げなどが起こります。木質床材専用ワックスを使用しましょう。

メンテナンス専用ワックスについては、弊社までお問合せください。

本書記載の内容については、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

また、**塗装**、**クリーニング** 及び **取扱説明書**に関する書類 については、弊社までご請求ください。

